

- マキロンsかゆみどめ液
 ●オイラックスPZリペア軟膏 ●オイラックスPZリペアクリーム
 ●オイラックスA ●オイラックスPZ軟膏 ●オイラックスPZクリーム
 ●オイラックスDX軟膏 ●オイラックスデキサS軟膏 ●アレルギーールSK
 ●アレルギーールクリーム ●アレルギーールジェル ●ベトネベートクリームS

【使用上の注意】

【解 説】



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

- 次の人は使用しないで下さい。
 本剤又は本剤の成分〔、クロルヘキシジン〕*によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 ▶ベトネベートクリームS
 ※アレルギーールクリーム
- 次の部位には使用しないで下さい。
 (1) 水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部
 (2) 目の周囲、粘膜等
 ▶マキロンsかゆみどめ液
 ▶オイラックスPZリペア軟膏
 ▶オイラックスPZリペアクリーム
 ▶オイラックスPZ軟膏
 ▶オイラックスPZクリーム
 ▶オイラックスDX軟膏
 ▶アレルギーールSK
 ▶アレルギーールクリーム
 ▶アレルギーールジェル
 ▶ベトネベートクリームS
- 顔面には、広範囲に使用しないで下さい。
- 長期連用しないで下さい。



相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 (1) 医師の治療を受けている人
 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 (4) 患部が広範囲の人

1. 共通事項解説〔1〕参照

- 副腎皮質ホルモン(ステロイド)には局所の抗炎症作用がありますが、一方では免疫反応を抑制するため、細菌類、真菌類、ウイルス等による皮膚の感染症を悪化させるおそれがあります。
 - 目の周囲、口唇や粘膜等は感受性が強く、本剤を使用することにより刺激感が強くあらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
 また、目の周囲への副腎皮質ホルモン製剤の使用は、緑内障などの眼病変の発症をきたすという報告があります。

3. 副腎皮質ホルモン製剤を顔面に広範囲に使用した場合、酒さ様皮膚炎が発現するおそれがあります。

4. 共通事項解説〔3〕参照
 本剤は副腎皮質ホルモンを含有しています。

- 共通事項解説〔4〕参照
 - 共通事項解説〔5〕参照
 - 共通事項解説〔7〕参照

(4) 患部が広範囲な場合は、できるだけ早く医師の治療を受けることが望ましい場合が多いので、自己判断で薬を塗布しないよう注意喚起しています。
 また、広範囲に塗布することにより、塗布量が多くなり、副腎皮質ホルモンの経皮吸収による副作用がおこるおそれがあります。

- マキロンs かゆみどめ液
- オイラックスPZリペア軟膏 ● オイラックスPZリペアクリーム
- オイラックスA ● オイラックスPZ軟膏 ● オイラックスPZクリーム
- オイラックスDX軟膏 ● オイラックスデキサS軟膏 ● アレルギールSK
- アレルギールクリーム ● アレルギールジェル ● ベトネベートクリームS

【使用上の注意】

【解 説】

(5) 湿潤やただれのひどい人

(5) 湿潤やただれのひどい患部は、本剤の刺激を強く受けて悪化したり、また、配合成分が体内へ吸収されて副作用を起こすおそれがあります。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに使用を中止し、使用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ ^{*1} 、かぶれ ^{*2} 、乾燥感 ^{*2} 、刺激感 ^{*2} 、熱感 ^{*2} 、ヒリヒリ感 ^{*2}
皮膚(患部)	みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感

※1：マキロンs かゆみどめ液、
オイラックスA、オイラックスDX軟膏、
オイラックスデキサS軟膏、
アレルギールクリーム、アレルギールジェル

※2：オイラックスPZリペア軟膏、
オイラックスPZリペアクリーム、
オイラックスA、オイラックスPZ軟膏、
オイラックスPZクリーム、
オイラックスDX軟膏、
オイラックスデキサS軟膏、
アレルギールSK、アレルギールジェル

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

下記のような重篤な症状があらわれたら、直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける必要があります。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

- ショック(アナフィラキシー)
重篤な症状の解説〔1〕参照

▶アレルギールクリーム

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

3. 5～6日間使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、使用を中止し、専門家に相談する必要があります。

【効能・効果に関連する注意】

効能・効果に記載以外の症状では本剤を使用しないで下さい。

定められた効能・効果以外への使用は、思わぬ副作用や事故が発生するおそれがあります。

▶ベトネベートクリームS

【使用法に関連する注意】

1. 使用法を厳守して下さい。
2. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させて下さい。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 共通事項解説〔9〕参照

- マキロンSかゆみどめ液
- オイラックスPZリペア軟膏 ● オイラックスPZリペアクリーム
- オイラックスA ● オイラックスPZ軟膏 ● オイラックスPZクリーム
- オイラックスDX軟膏 ● オイラックスデキサS軟膏 ● アレルギールSK
- アレルギールクリーム ● アレルギールジェル ● ベトネベートクリームS

【使用上の注意】

【解 説】

3. 目に入らないように注意して下さい。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗って下さい。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けて下さい。
4. 外用にのみ使用して下さい。
5. 使用部位をラップフィルム等の通気性のわるいもので覆わないで下さい。
 ▶ オイラックスPZリペア軟膏
 ▶ オイラックスPZリペアクリーム
 ▶ オイラックスPZ軟膏
 ▶ オイラックスPZクリーム
 ▶ アレルギールSK
 ▶ ベトネベートクリームS
6. 化粧下、ひげそり後などに使用しないで下さい。
 ▶ ベトネベートクリームS
7. チューブの開け方
 キャップを逆向きにし、中にある突起部をチューブの口に深く差し込み、穴を開けて下さい。
 ▶ オイラックスPZリペア軟膏
 ▶ オイラックスPZリペアクリーム
 ▶ オイラックスPZ軟膏
 ▶ オイラックスPZクリーム
 ▶ オイラックスDX軟膏
8. 容器の使い方
 容器を逆さまに持って、スポンジ面を数回患部に押しつけ、薬液をスポンジに十分浸透させて下さい。薬液がスポンジ面に十分浸透していないと、スポンジ面が破れるおそれがありますのでご注意ください。使用後はスポンジの乾燥を防ぐため、必ずキャップをしっかり閉めて下さい。
 ▶ マキロンSかゆみどめ液

3. 本剤が万一、目に入った場合、強い刺激を感じると共に、充血を起し腫脹をきたす等が考えられます。このような場合は直ちに目を水で洗い流し、薬を取り除いて下さい。また、水洗いしても刺激がいつまでも続いたり、涙が止まらない場合には、眼科医の診療を受けて下さい。
4. 定められた投与経路、適用部位以外への使用は、思わぬ副作用や事故が発生するおそれがあります。
5. ラップフィルム等で覆われた部位は、皮膚が軟化し、薬剤の浸透率が増加することにより、刺激等が強くあらわれるおそれがあります。
6. 本剤の効能・効果と異なる使用法は効果を期待できないだけでなく、副作用があらわれるおそれがあります。特に、顔面は薬剤の吸収性が高いため、化粧下、ひげそり後などに使用することにより、副作用があらわれる危険性があります。
7. チューブを失敗なく開けるための説明です。
8. スポンジの破れを防ぎ、正しく使用するための説明です。

【成分・分量に関する注意】

1. 本剤はアルコールを含んでいますので、しみる場合があります。
 ▶ マキロンSかゆみどめ液

1. アルコールにより、感じる場合があります。

- マキロンsかゆみどめ液
- オイラックスPZリペア軟膏 ●オイラックスPZリペアクリーム
- オイラックスA ●オイラックスPZ軟膏 ●オイラックスPZクリーム
- オイラックスDX軟膏 ●オイラックスデキサS軟膏 ●アレルギーールSK
- アレルギーールクリーム ●アレルギーールジェル ●ベトネベートクリームS

【使用上の注意】

2. 塗布／塗擦後ほてり(熱感)を感じるがありますが、短時間のうちに消失します。
 ▶オイラックスPZリペア軟膏
 ▶オイラックスPZリペアクリーム
 ▶オイラックスA
 ▶オイラックスPZ軟膏
 ▶オイラックスPZクリーム
 ▶オイラックスDX軟膏
 ▶オイラックスデキサS軟膏
 ▶アレルギーールSK
 ▶アレルギーールジェル

【保管及び取り扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- 1'. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。(本剤は揮発性です)
 ▶アレルギーールジェル
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. 火気に近づけないで下さい。
 ▶マキロンsかゆみどめ液
 ▶アレルギーールジェル
5. 車の中など、高温になる場所に長時間放置しないで下さい。容器が変形し、スポンジ部分の脱落や液もれがおこるおそれがあります。
 ▶マキロンsかゆみどめ液
6. 本剤は化学繊維、プラスチック類、塗装面等を溶かしたりすることがありますので、床、家具、メガネ等につかないようにして下さい。
 ▶マキロンsかゆみどめ液
7. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

【解 説】

2. クロタミトンにより、一時的に感じる場合があります。
1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. 本剤にはアルコールが含まれているため、火気に近づけると引火するおそれがあります。
5. 高温条件により、容器が変形したり、スポンジ部位が劣化したり、液もれが起こるおそれがあるので注意が必要です。
6. 本剤に有機溶剤(アルコール)が含まれているため、本剤が付着すると、化学繊維、プラスチック類、塗装面等を変質・変色させる場合があります。
7. 共通事項解説〔17〕参照